① 包茎についてお悩みの方へ

- ・ 包茎自体は、緊急性の高い疾患ではありません。
- 包茎が完全に悪いことであるかの様に、極端に悪く考える必要はありません。
- 男性にとってはとても大切な問題です。包茎について悩みを持っている男性は非常に多いです。
 - 包茎について治療を少し考えたい・・・
 - ・包茎の問題について悩んでいる・・・
 - 自分の性器についてコンプレックスや心配がある・・・
- ・当院は、泌尿器科専門クリニックであり、包茎の相談で受診される方がたくさんいます。
- 若い方だけではなく、壮年期の方もたくさん相談にきています。

当院で大切にしていること

- ・包茎手術について、当院では男性科診療所として、①性機能、②排尿の機能、③見た目、を重要視しています。
- 人それぞれ、無数に包茎のパターンがあります。個々人でベストの手術デザインを考えます。

①性機能

- ・勃起・射精・性感を大切に考えます。
- 性行為に支障がなく、性感をできるだけ低下させないように、性感の敏感な皮膚は温存します。
- ・勃起時に不快感を起こさないよう、勃起時しっかり亀頭が露出し、勃起時包皮が突っ張らないように、 勃起時の状態を考えて手術を行います。

②排尿の機能

• 尿道口を露出させて、排尿がしやすくなるように、手術を行います。

③見た目

- 見た目がきれいに、格好良くなるように手術は工夫します。
- 完璧に理想通りのイメージの術後状態にならない可能性があります。
 - ※ 包皮の炎症や亀頭部周囲の癒着によっては希望通りの形成手術が不可能な場合があります。
- 包皮が完全に剥けない場合、亀頭露出を常時行うことが困難な可能性があります。
- ※ 自身でメリットとデメリットをしっかり検討・熟考し、納得のいく医療機関で手術を受けてください。

当院で行っていないことについて

- ・包茎手術において、
 - 異常に高額な費用請求
 - ・陰茎の増大をうたった医学的には適切ではないような治療方法を半ば強制的にすすめられる
 - ・ 泌尿器科や男性器の専門医ではない医師が未熟な技術で執刀をする など、悪質なケースがみられます。
- 自分自身の大切な男性器のことですので、実際手術を受ける医療機関と十二分に協議相談して、 納得のうえで、安全な治療を受けましょう。

包茎手術の高額請求について

・ 包茎手術について、「⑤手術料金について」の概算以外に料金はかかりません。

亀頭部への薬剤注射・陰茎部への異物挿入について

- ・亀頭部を増大するとの名目で、亀頭部へ薬剤注射や、陰茎部への異物挿入など、 安全性に疑問がある医療行為については一切行っていません。
- ・異物反応による腫脹や肉芽形成、変形、性感の悪化などが生じる可能性があります。
- 長期的に体内に残る成分を注射することにより、血流障害をきたす可能性があります。
- 性器の血流不全、壊死など重症な合併症の報告があります。
- 薬剤注射・異物挿入による性器の増大は、病的な腫れや腫大の場合があります。

亀頭直下法について

- ・当院では行っていません。
- ・内板・包皮小帯(裏筋)を切り取って、亀頭部の真下の環状溝で縫合する術式です。
- 美容外科などで、泌尿器科ではない医師が行っていることが多いです。
- 包皮のたるみがないデザインです。勃起時の想定をせずに包皮を切除した場合、過剰に切除されます。
- ・包皮が常に突っ張った状態になります。縫合部がケロイドになりやすいです。包皮が切れやすくなります。
- 勃起時に屈曲したり、突っ張ったり、違和感や不快感が生じます。
- 内板・裏筋は性感帯です、切除すると、性感が欠損・低下します。
- 裏筋がなくなるので、不自然な見た目になります。
- ・ 亀頭部~包皮は、内板部でピンク色~茶色へグラデーションになっています。
- グラデーション部分を切り取るので、ピンク色から茶色へ不自然に変わります。 (ツートンカラー)
- ・包皮の狭くなった部分が残ったり、手術の際に包皮が狭くなったりしやすいです。リンパの流れ・血流が阻害され、陰茎が変形したり、むくみが残存する可能性があります。(ペリカン変形・提灯変形)
 - ※ 包皮の過剰切除、内板・包皮小帯の切除は、再手術では直せません。

②包茎とは

- 男性器の亀頭部が包皮(皮膚)に覆われた状態のことです。
- ・ 真性包茎: 亀頭部が外に露出しない状態。
 - ・ 亀頭部と包皮が癒着し、尿道口を包皮が覆ってしまうと排尿に障害が生じます。
 - ・緊急で治療が必要です。
- 仮性包茎: 亀頭部が非常に露出しにくい状態。
 - ・日本人男性の70%くらいは仮性包茎であるといわれています。
 - 通常は包皮が亀頭部を覆っていますが、包皮翻転(皮をめくる)が可能です。
 - ・恐怖心で包皮翻転ができないのは真性包茎ではありません。
 - 仮性包茎では、亀頭が常に包皮に覆われているため、亀頭と包皮の間の空間に汚れがたまりやすく、 恒常的に不潔になりやすい状態です。
- ・ 嵌頓包茎: 勃起時や包皮翻転時、陰茎を締め付けてしまい痛みがある、または腫れてくる状態。
 - 包皮が狭小化(狭いところがある)していることが原因です。
 - そのまま放置すると

 ・そのまま

 放置すると

 ・のまま

 ないます。
 - ・緊急で整復が必要です。

包茎による影響について

包皮炎になりやすい。

- 包皮炎とは、内板というリング状の皮膚の部分が炎症をおこしている状態です。
- 常に蒸れて不潔な環境のため、細菌や真菌(カンジダなどのカビ)が繁殖しやすいです。
- 慢性的な皮膚の炎症状態が続くと、皮膚が脆弱になり、切れやすくなります。
- (外用にて治療しますが、治癒しにくいことがあります。)
- 慢性包皮炎は陰茎癌の原因になるとされています。陰茎癌は生命に直結する問題となります。

性感染症のリスクが高い

- 慢性の炎症がある皮膚は、感染症への抵抗力が弱いため、各種感染症、性病にかかる確率が高くなります。
- ・尖圭コンジローマなども仮性包茎の症例に多いのが現実です。
- HIVなどの感染症にかかりやすい状況になると言われています。

性行為障害につながる。

- 包茎により性感に対して障害がでると、性行為障害につながります。
- ・勃起時に、痛み・狭小化した包皮による絞扼感(しめつけ感)・包皮のたわみによる不快感などがある場合、性感が感じにくくなります。
- 亀頭部が脆弱で過敏な状態の場合、過剰な性感から、早漏のリスクが高くなる可能性があります。

悪臭がする

- 慢性的な包皮の被覆によって内部の内板が不潔なため、恥垢などで悪臭が発生している状態です。
- 特に夏場など悪臭がひどくなる場合があります。
- (外用にて治療しますが、治癒しにくいことがあります。)
- ・ 陰茎部からの悪臭で、性行為などでもパートナーに不快な思いをさせてしまう可能性があります。
- 自分自身がなんとなく自信が持てない原因になります。

包茎の治療について

- ・包茎の根治治療は、手術になります。
- 上記、包皮炎・悪臭に対しては、外用にて治療が可能ですが、再発しやすく、根本的な解決にはなりません。

包茎の手術適応について

包皮炎が外用で治癒しにくい・改善がない

- 慢性包皮炎による不良包皮の除去と、露茎(包茎を解除して亀頭部露出すること)することで、 蒸れて不潔な環境が改善され、治癒が期待できます。
- 包皮が切れやすい場合、慢性皮膚炎によって脆弱になった皮膚の部分を切除することによって、 改善する可能性があります。

性行為障害がある

• 包茎により障害が出ていた性感に対して、改善が期待できます。

見た目を綺麗に、露出した亀頭にしたい

・ 審美的な本人の好みです。

包茎手術のメリットについて

- ・亀頭部・包皮の清潔性が上昇する。(包皮に覆われ、蒸れて不潔な環境だったのが改善される。)
- →包皮炎になる頻度・可能性がかなり減少する。
- →性器の汚れが減って悪臭がなくなる。
- 脆弱な亀頭部や包皮が、健常で丈夫な皮膚になる。(慢性的な炎症が改善される。)
- →性感染症(尖圭コンジローマ、HIV、梅毒)などへの罹患リスクが減少する。
- →長期的視点で、陰茎癌の確率が下がると考えられる。
- ・絞扼などを伴う包茎の場合、包茎手術後には性行為に伴う感度がよくなる。
- ・性行為の時にコンプレックスを持ちにくくなり、男性自身の性器に自信を持つことができる。
- →性感がより快感に繋がりやすくなり、早漏傾向などの性行為障害が改善する。

包茎手術のデメリットについて

- ※ 生命に重大な影響を及ぼすようなことはきわめてまれです。
- 通常の仮性包茎手術の場合、自費診療での手術となる。
- →ある程度の手術料金が必要となる。
- →コストの負担がある。 ※
 - ※ 保険適応になるような真性包茎は、成人男性でほとんどありません。
- 手術による合併症の可能性がある。
- →勃起時の違和感・性感の変化・手術の創部のケロイド形成などのリスクがある。
- →リンパ浮腫などで、手術部位に少しむくみが残る可能性がある。
- 自分が思っていた出来上がりと異なっている。
- →不快感が生じる場合がある。
- →再度、形成手術を検討する必要がある。

再手術について

- 審美的な問題で修正を希望される場合は、再手術が必要になります。
 - ※ 当院での手術後の再手術・修正手術の場合は、別途料金設定があります。
- 包皮の追加切除を希望される場合、必要性をよく検討して対応します。
 - ※ 包皮の過剰切除による、包皮短小化による障害(勃起時突っ張り・勃起時陰茎屈曲)、 性感の高い部位の切除による障害(性感の欠損)が起これば治癒困難です。

埋没陰茎の場合について

- 通常時、陰茎が脂肪に埋もれている状態です。勃起時に包皮が余らないよう、デザインして手術します。
- 包皮の過剰切除になる可能性がありますので、常に亀頭部が出た状態は難しい可能性があります。
 - ※ 埋没した状態の時は、包皮が亀頭部にかぶったままの可能性があります。
 - ※ 包茎手術で、通常時に陰茎が脂肪から出た状態になることはありません。

③ 包茎手術について

- 包茎手術の基本は、露茎(ロケイ)といって、亀頭部が露出するように形成することです。
- ・ 当院では、10代半ばから60代半ばくらいまでの幅広い年齢層で、包茎手術を行っています。
- ・強制される手術ではありません。自由意志で希望してください。
 - ※ 当院での包茎手術は、基本的に保険外診療の手術料金設定となります。

※※※ 下記の注意事項を守れない方は、当院では手術は行いません。 ※※※

手術を希望される際の注意事項

術後の 安静

- ・ 術後24時間は、安静を厳守してください。 合併症のリスクが高まります。
- 腹圧をかける動作・階段昇降・飲酒・暴飲暴食は禁止です。

遠方の方

・遠方の方は、翌日診察まで当院にすぐ来られる場所(10-15分程度)に宿泊してください。

術後診察 予約

- 手術翌日9:30の診察は必須です。
- 手術日確定後は、キャンセル料発生日前であっても、キャンセル・日付変更のないようにしてください。

術式・麻酔について

- ・ 当院での包茎手術は、局所麻酔による環状切除手術・背面切開手術の術式を基本に手術を行います。
- ・解剖学的評価・所見から、術式を適宜組み合わせて、臨機応変に対応します。
- 内板 裏筋は温存します。(陰茎皮膚の切除を、過剰にすることはありません。)
- ・心身の負担が少ない局所麻酔で行いますので、入院は必要ありません。

手術時間について

局所麻酔から閉創まで、30-60分程度です。

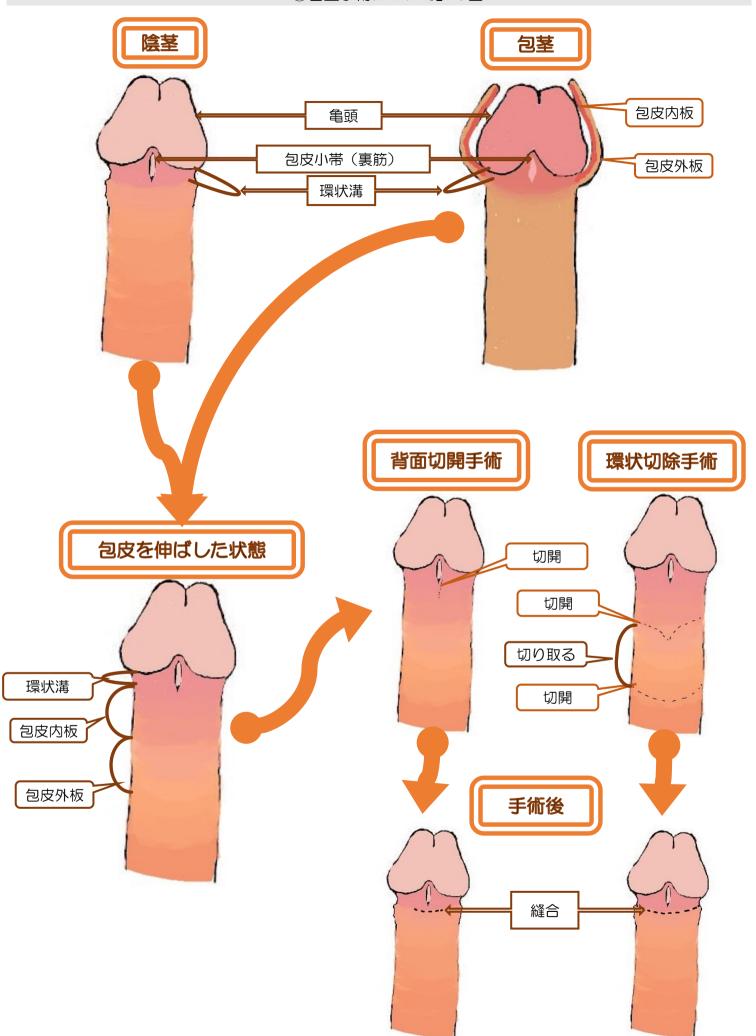
合併症について

- ・感染・包皮癒着・縫合不全: 創部から膿が出たり、創部が開いたりします。再縫合が必要になることは稀です。
- 創部の瘢痕形成 硬化変化: 創部やその周囲がケロイド化(硬くなること)することがあります。 皮膚違和感が生じることがあります。
- ・浮腫(むくみ)・リンパ浮腫の残存:稀に皮膚違和感が生じることがあります。
- ・変形・勃起障害・勃起時の違和感・絞扼感:稀です。包皮の過剰切除による、包皮の短小化で生じます。
- ・性感の低下・欠損:稀です。包皮の過剰切除による、性感の切除で生じます。
- 排尿障害:稀です。
- ・局所麻酔中毒:ごく稀です。
- ・ 迷走神経反射:ごく稀です。

手術後の経過について

- ・創部の痛み:個人差があります。麻酔が切れてくると、痛み・違和感が出てくることがあります。 軽度の痛みが数日から数週間続くことがあります。
- 内出血: 創部の皮膚が皮下出血により、打ち身のように少し紫斑が出ます、自然軽快します。
- ・むくみ・腫れ:局所麻酔をしますので、創部全体のむくみ・腫れがでます。1ヶ月程度で自然軽快します。
- ・ 滲出液・出血:局所麻酔・切開をしますので、多少の染み出し出血があります。
- 抜糸:溶ける糸で縫合していますので、抜糸はありません。2-3週間後から徐々に溶けていきます。
- ※ 鎮痛薬が効かない、皮膚の赤み・腫れが増してきた、膿のような液体が出てくる、糸が残っている、等ありましたら、診察にお越しください。
- 創部は他の皮膚より硬くなって治癒します。(体質的な問題で、ケロイドになることもあります。)
- ・術後1週間程度、早朝勃起をすると痛みがあります。
- ・ 術後ほぼ全例で包皮浮腫・内出血が起こります。

「③包茎手術について」の図



④ 手術前~手術後のながれ

- ・術前検査(胸部レントゲン検査・心電図検査・採血検査)、手術オリエンテーションを受けていただきます。 (術前検査後は3ヶ月以内に手術を受けていただく必要があります。)
- 手術日を決めてください。手術日・手術翌日の診察(9:30)の予約をとります。 (後日電話連絡でも可能です。手術は先着順になっています。)
- 現在服用中の内服薬を確認します。休薬が必要な薬がある場合は、「中止薬指示書」をお渡しします。

手術前日まで

- 安全に手術を受けるために、かぜ等引かないよう、体調を整えてください。
- 「中止薬指示書」がある場合は、指示の通り休薬してください。
- ・手術前日から、飲酒・タバコは禁止です。

剃毛 創部周囲(陰部周囲~鼠径部)の毛を剃ってください。(創部は亀頭部の下あたりです。)

※創部に毛がつくと不潔になりますので、ツルツルにしてください。

手術当日

手術時間 | 手術は13:30からです。来院前に入浴を済ませて、清潔にしてください。

食事制限 食事は午前9:30 (手術4時間前)、飲水は午前11:30 (手術2時間前)までです。

飲水制限 | ※それ以降飲んだり食べたりすると、手術は中止になります。

・公共交通機関・付き添いの方の運転・タクシー・徒歩などで来院してください。

※ 手術中に鎮静薬を使用しますので、帰宅時はご自身での車・バイク・自転車の運転は禁止です。

来院

来院時間 | 来院時間は、13:00です。(院内待合での付き添いは、1名まで可能です。)

※手術終了後~待機時間終了までの間は、付き添いはできません。

※付き添いの方に、薬局へ薬を取りに行ってもらうことが可能です。

手術料の支払い 「手術前に、手術料のお支払いをしていただきます。(現金・クレジットのみです。)

• 手術翌日の診察予約(9:30)、緊急連絡先の確認をします。

手術前

- ・バイタルサイン測定(血圧・脈拍・体温)をして、術前の体調確認します。
- ・ 処置室にて手術着に着替えます。 下着は全て外してください。

(靴下・眼鏡・マスクはつけたままで可。)

(電気メスを使用しますので、アクセサリー・指輪・時計等は外してください。)

- ・ 剃毛部位を確認します。 (剃り残しがある場合、追加で剃毛します。)
- 手術部の包皮に麻酔シールを貼ります。(亀頭部の汚れがある場合、洗浄・消毒を行います。)
- 鎮静薬を両肩に筋肉注射します。安全のため、点滴を確保します。
- 手術後の注意点・生活指導・診療情報提供書・消毒方法について説明します。
- 手術室に移動します。抗生剤の点滴を投与します。モニターをつけます。(腕に血圧計を巻き、胸に心電図のテープを貼り、指先に酸素濃度を測る器機をつけます。)
- 両手を横に広げます。術野が見えないよう、前を隠します。

手術中

- 手術部位周囲を消毒します。清潔な布を身体の上に被せます。
- 包皮に皮膚ペンで切り取る部位のマーキングをします。包皮、陰茎根部に局所麻酔の注射をします。
- 勃起した状態を想定してデザインしていくので、陰茎を引っ張った状態で手術をすすめます。
- (亀頭部をもってひっぱりますので、多少の違和感があります。)
- •環状切除の場合、余分な包皮を切り取り、縫い合わせます。(裏筋、内板を温存してすすめていきます。)
- 背面切開の場合、裏筋の横-下あたりに切り込みをいれ、縫い合わせます。
- ・ 亀頭部の血流が問題ないこと、手術部位の止血を確認します。 問題がなければ手術終了です。
- ※ 局所麻酔(部分麻酔)なので、意識はあります。触られている感覚もあります。
- ※ 手術中に、創部の痛み・違和感、陰部の不快感などを感じることがあります。
- ※通常時、亀頭部を触って痛みのある場合、局所麻酔をおこなっても、触っている痛みはなくなりません。
- ※危険ですので、大きな身体の動きはやめてください。

緊張・恐怖感・違和感で体動を静止できない場合、安全が確保できないため、手術は中止します。

- ※ 手術中は適宜声かけしながら行います。
- ※ 鎮静薬の影響で眠気が出てきます。そのまま寝てください。

手術後~

・術後は処置室にて休憩していただきます。(安静厳守、横になっていてください。)

術後15分後頃

体調・創部確認のため、術後1回目の診察をします。問題がなければ点滴を抜きます。

術後2時間後頃 (17時頃)

体調・創部確認のため、術後2回目の診察をします。

問題がなければ着替えて帰宅です。

診療情報提供書について

- 手術後、診療情報提供書をお渡しします。(包茎手術をしたという説明の紙です。)
- ・当院が診療時間外で、お近くの救急外来など他医療機関を受診した際に提出してください。

帰宅後

内服薬

処方箋があります、帰宅前に調剤薬局で薬をもらってください。

抗生剤・止血剤・鎮痛薬などが処方されます。

アレルギーなど、重篤な副作用がない限り、抗生剤・止血剤は全て服用してください。

- 手術後は寄り道等せず、まっすぐ帰宅してください。
- 手術後から食事可能です。
- 手術後、創部には2枚ガーゼを巻いています。(内側:止血目的、外側:汚染予防)
- 手術翌日の診察までは、内側のガーゼは外さないでください。

体調確認の連絡・時間外緊急連絡先について

手術当日19:30頃 | 体調確認のため、別紙連絡先まで連絡をいれてください。

時間外緊急連絡先

手術当日の診療時間外~翌9:00まで、時間外緊急連絡先を用意しています。

手術翌日~

術後の診察・検査について

手術翌日9:30 術後1週間後

診察・創部の状態を確認します。

(自分で消毒・処置が難しい場合は、

術後2週間後

(術後2週間程度、自分で創部の消毒・処置をしていただきます。)

毎日診察に来ていただく必要があります。)

術後1ヶ月後 術後2ヶ月後

創部の消毒について

消毒

手術2日後のシャワー浴後から、1日1回、消毒・軟膏塗布・ガーゼ交換をしてください。

- ①ガーゼを巻いたままシャワーする。(創部はゴシゴシ洗わないようにしてください。)
- ②ガーゼを剥がす。(細菌が付着してしまうので、創部は触らないようにしてください。)
- ③消毒する。(創部から周囲まで消毒します。)
- ④軟膏をたっぷり塗る。

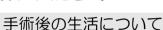
(綿棒等にとって塗ります。直接手で塗らないでください。)

- ⑤ガーゼを3センチ程度の棒状にして、傷の上をぐるっと覆います。
- ⑥テープで固定します。

(きつく巻かないでください。外れない程度の緩さで固定します。)

(テープは1周ぐるっと巻かないでください。)

- ※ 排尿時、ガーゼが尿で汚染しないよう注意してください。
- ※ ガーゼが汚染した場合、汚いので適宜交換してください。



入浴

手術翌日の診察後から、洗髪・清拭が可能です。(創部は濡らさないでください。) 手術2日後の夜から、シャワー浴が可能です。

術後10日-2週間後の診察後から、湯船につかることが可能です。 (医師の許可が必要です。)

運動

手術翌日の診察までは安静に過ごしてください。

術後3日間は、自転車は禁止です。

術後10日-2週間は、ランニング・腹圧のかかる運動・筋トレ・激しい運動は禁止です。

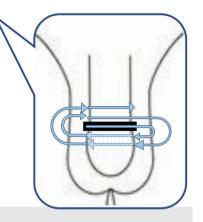
スイミングは入浴許可がでるまで禁止です。

性行為•自慰行為

3-4週間程度は、禁止です。(医師の許可が必要です。)

飲酒・タバコ

内服薬服用中は禁止です。抗生剤の効果が下がります。



⑤ 手術料金について

手術料金の概算は下記になります。手術当日の手術前にお支払いしていただきます。 手術当日に追加検査があった場合は、別途費用が必要になります。

(税込)

			月~金	土・日	
包茎手術	手術		¥162,800	¥162,800	※ 保険適用外(自費)です。
	手術材料•消毒材料		¥3,600	¥3,600	
	点滴(抗生剤等)		¥1,400	¥1,400	※ 手術後1回目の診察料と
	保険診療(処方箋等)		¥15,700	¥15,900	処置料を含んでいます。
	選定療養費		¥4,400	¥7,700	
	術後管理料	翌日診療日	¥3,300	¥3,300	※ 調剤薬局で支払う薬剤料も
		翌日休診日	¥5,500	¥5,500	含んでいます。
	手術日当日の支払合計 (概算)		約 ¥194,000	約 ¥197,000	

- ・支払後の返金はできません。
- 緊張や恐怖感で手術時安全が確保できない場合には、手術中断・終了することがあります。 この際も手術料金の返金はできません。

⑥ 選定療養費・術後管理料について

選定療養費について:より安全な手術の提供、手術予約者への時間確保をさせていただくために

導入している制度です。

選定療養費(手術:予約料)として近畿厚生局に届出をしております。

術後管理料について: 術後~翌日の診察までの夜間・深夜の時間帯(20時~翌朝8時30分)に

緊急対応ができる体制を導入しております。

⑦ 手術キャンセル料について

当院では、手術キャンセル料を設定しています。

手術をキャンセルされた場合は、下記のキャンセル料をお支払いいただきます。

手術希望の方が多数おりますので、キャンセル料発生日より前であっても、 手術日確定後は、キャンセル・日付変更がないようにしてください。



<u>(梲別)</u>

	キャンセル料		
キャンセル料発生日	7日前~10%	3日前~30%	手術当日100%
包茎手術	¥14,800	¥44,400	¥148,000

- ※ キャンセル料発生日は診療日の7日前からです。
- ※ キャンセル料発生日数の期間に、休診日は含みません。
- ※ 急な体調不良などの理由で手術のキャンセル・変更をされる場合は、 医師の診断書の提出をお願いする場合ががあります。
- ※ 休診日は、電話も繋がりませんのでご注意ください。